

〔第183回明専塾（株）野村総合研究所〕

野村総研OBの方に教わったこと

情報工学部生命情報工学科3年 古賀 美槻



はじめに

令和元年11月29日に、飯塚キャンパスにおいて第183回明専塾が開催されました。今回は、株式会社野村総合研究所でご活躍されている4名のOBの方々の貴重なお話を伺うことができました。お客様と関わるコンサルティングに関心があった自分にとっては大変興味深いイベントで、キャリアセンターのホームページにて野村総合研究所の明専塾が開催されると知り、参加することに決めました。

野村総合研究所は、業界トップクラスの営業利益率と圧倒的なコンサ

ルティング力を誇るユーザー系システムインテグレータです。野村ホールディングスやセブンアンドアイホールディングスなどの国内で名の知れ渡った様々な大企業を顧客に抱え、その経営や情報システムを長きに渡り支えています。

講演会

今回は、野村総合研究所 福岡ソリューション開発部の浅辺公彦氏（情知H4卒）、吉田亮太氏（電情H15卒）、中島佑樹氏（機制H21卒）、小屋松裕貴氏（電気EH27卒）の4名の方々にお話を伺うことができました。お話の中で、福岡ソリューション開発部では、株の自動売買のソフトやレガシーシステム・モダンシステム間の移行作業といったシステムの研究・開発を重点的に担っていることがわかりました。私たちの就職活動や研究生活のためになるお話に加え、学生時代やプライベート等の

お話も交えてくださり、とても楽しい講演会になりました。特に私は、浅辺氏がケーキ屋さんでのアルバイト漬けだった一方、学年主席でいらったというお話が心に残っています。「やりたいことは思う存分、やるべきことは求められる以上にやり遂げる」その姿勢に大変感銘を受けました。

懇親会

懇親会ではご講演いただいた4名の方々と飲食を交えながら直接質問させていただくことができました。

そこで、私は小屋松氏とお話する機会をいただき、「就活は営業」という考え方を伝授していただきました。小屋松氏曰く、就職活動とは「自分という商品の価値や将来性を企業に提示し、商品である自分を売り込むこと」なのだそうです。私は、この考え方をすることによって、肩の力を抜いて自分らしく就職活動ができるように感じました。今、漠然とした不安に駆られている私にとって必要で、大変嬉しいお言葉でした。

最後に

私がインターンに参加したい旨を講演会直前にお知り下さった際、その場で採用担当の方にお電話してくださった浅辺様、誠にありがとうございました。

最後になりましたが、ご多忙の中、私たち学生に講演をしていただいたOBの皆様、並びにこのような機械を提供していただいた明専会や教職員の皆様にご心より御礼申し上げます。

（令和元年12月記）